

高冷地夏秋どり、リーフレタスの作型

(園試、高冷地開発センター)

1. 背景とねらい

リーフレタスは非結球性のレタスとして、葉色の鮮やかさや、葉質の柔かさなど独特の品質・食味により、近年需要の伸びが著しい。

リーフレタスでも盛夏どりは、平場では高温のため生育不良で腐敗、抽台の発生が多く栽培が困難である。またリーフレタスは葉の赤色発現が良いもの、株重の大きいL級のものが市場評価が高い。

そこで高冷地での夏秋期における時期毎の生育特性および適応品種について検討を行った結果一応の成果が得られたので参考に供する。

2. 技術の内容

1) 高冷地におけるリーフレタスの、は種期別、収穫期、生育特性、適応品種は次のとおりである。

地帯	は種期	収穫期 (積算温度)	抽台危険性	期待収量 (10a当り)	赤色発現性	適応品種
高冷地 (標高350 ~500m)	3~4月	6月 (1,000~1,100°C)	-	2,500 kg	+++	レッドファイヤー
	5月	7月 (1,200~1,400°C)	-	1,800	++	"
	6月	8月 (1,200~1,300°C)	++	1,500	++	"
	7月	9月 (1,300~1,400°C)	-	1,800	+++	"
高標高地 (標高500~ 700m)	6月	8月 (1,100~1,300°C)	-	2,000	+++	

収穫期()は、は種日から平均気温の積算によるおおよその収穫期

2) 適応地域 高冷地および高標高地

3. 指導上の留意事項

- 1) は種後、覆土、灌水を均一にし発芽を揃える。株の生育を揃えるため苗をよく揃える。
- 2) 栽植距離は、うね幅100cm、株間25~27cm、株数a当り750~800株にある。
- 3) 使用マルチは高冷地6月まきは白黒、3,4月まきは透明、この外は黒ポリマルチにある。
- 4) 施肥量は結球レタスより若干多目(20%)に施す。
- 5) 抽台が始ると節間が長くはつてくる。このようになるに花茎の伸長が速やかになるので、抽台になる前に収穫する。

4. 参考文献

昭和58~59年度園試高冷地開発センター成績書

5. 試験成績

表1 は種期、品種別 品債 収量 (559 場内)

は種期	品 種	全重	調整重	茎の長さ	茎の太さ	腐敗	抽台	収率	赤色露現程度	対比	備考
4月20日	レッドファイヤー	509	456	8.4	3.1	0	0	100	+++	364.0	。6月20日まではL級出現後収量調査予定であったが、L級出現直前で殆んど抽台した。M級収穫であれば100%近く収穫可能である。
	ニュースター	479	428	8.1	3.1	0	0	100	+++	342.4	
	レッドエース	410	372	7.3	2.9	0	0	100	+++	297.6	
	サニレラス(標)	426	379	6.0	3.0	0	0	100	++	303.2	
	サニレラス号(参)	594	520	7.9	3.5	0	0	100	+++	416.0	
	サンレッド(参)	357	325	9.4	2.6	0	0	100	+++	260.0	
5月20日	レッドファイヤー	257	227	9.4	2.3	0	0	100	++	181.6	。ニュースターは各は種期とも死芽不良であった。
	ニュースター	273	243	10.8	2.5	7.5	0	92.5	++	179.8	
	レッドエース	263	237	10.4	2.5	0	0	100	++	189.6	
	サニレラス(標)	235	203	7.9	2.4	0	0	100	+	162.4	
	サニレラス号(参)	303	268	12.2	2.7	7.5	2.5	90.0	+++	192.9	
	サンレッド(参)	268	239	11.1	2.6	2.5	0	97.5	++	186.4	
6月20日	レッドファイヤー								++		。レッドエースは抽台が少く盛夏期の生育もよいが、苗の生育と初期生育が劣る傾向がみられるので今後更に検討が必要である。
	ニュースター								++		
	レッドエース								++		
	サニレラス(標)								+		
	サニレラス号(参)								+++		
	サンレッド(参)								++		
7月20日	レッドファイヤー	261	237	9.6	2.8	0	0	100	+++	189.6	
	ニュースター	263	241	13.4	2.5	0	5.0	95	+++	183.2	
	レッドエース	260	237	8.2	2.4	0	0	100	+++	189.6	
	サニレラス(標)	234	211	11.3	3.3	0	17.5	82.5	++	139.3	
	サニレラス号(参)	237	216	13.4	3.2	0	12.5	75.0	+++	129.6	
	サンレッド(参)	246	224	10.4	2.8	0	7.5	85.0	+++	152.3	

表2 高標高地の収量、品債 (559 現地、奥中山は場内)

試験区	項目	全重 (g)	調整重 (g)	株高 (cm)	障害株 (%)			茎の長さ (cm)	赤色露現程度	収量 (kg/10a)	対比 (%)	収穫期 (月・日)
					腐敗率	抽台率	合計					
6月20日	田代平	363	338	25.6	0	0	0	15.0	+++	2,503	100	8/13
	外山	400	357	26.5	0	0	0	8.5	+++	2,644	105	8/13
	奥中山	344	293	-	0	0	0	16.0	++	2,170	86	8/22
7月1日	田代平	307	264	25.5	0	0	0	15.0	+++	1,955	78	8/24
	外山	305	274	25.2	1.4	0	1.4	7.0	+++	2,001	79	8/31
	奥中山	196	171	-	0	0	0	18.0	++	1,266	50	8/28
7月10日	田代平	262	223	25.5	0	0	0	12.5	+++	1,651	65	8/28
	外山	300	245	24.7	0	0	0	10.5	+++	1,814	72	9/5
	奥中山	243	218	21.5	0	0	0	16.6	+++	1,333	53	9/6

表3 積算温度

年度	は種期	定植期	収穫期	は種から収穫までの所費日数	は種から収穫までの積算温度	抽台期での積算温度	
				日数	℃	℃	
場内	58	3月20日	4月22日	6月10日	82日	1,050℃	1,529℃ (8%)
		5月20日	6月22日	8月13日	85日	1,345℃	
		7月20日	8月11日	9月29日	71日	1,399℃	
内	59	4月20日	5月17日	6月26日	67日	1,009℃	1,330℃ (8%)
		5月20日	6月12日	7月26日	67日	1,181℃	
		6月20日	7月11日	8月17日	(58日)	(1,215℃)	
		7月20日	8月7日	9月27日	69日	1,327℃	
外山	59	6月20日	7月13日	8月13日	54日	1,017.3℃	
		7月1日	7月24日	8月31日	62日	1,233.9℃	
		7月10日	7月31日	9月5日	57日	1,140.1℃	
田代平	59	6月20日	7月12日	8月13日	54日	1,100℃	(1,500℃)
		7月1日	7月20日	8月24日	55日	1,167.5℃	
		7月10日	7月30日	8月28日	49日	1,250.3℃	